

町内美化清掃活動における事故の防止について

【安全対策】

1 活動前の準備

(1) 健康状態の確認

活動開始前に、参加者全員の当日の健康状態を確認する。

少しでも具合が悪い参加者は、無理をさせずに活動へ参加させない。

(2) 服装と保護具の着用

長袖、長ズボン、帽子、軍手、滑りにくい靴・作業靴を着用する。

必要に応じて、マスク、ゴーグル、ヘルメットなどを着用する。



(3) 活動場所の確認

危険な場所（足場が不安定な場所、交通量の多い場所、高所など）で活動しない。

(4) 道具の点検

鎌、熊手、ほうきなどの道具は、使用前に点検し、破損や不具合を確認する。

肩掛け式草刈機などの電動工具を使用する場合は、取扱説明書をよく読み、安全に使えるように準備する。

(5) 活動内容の確認・共有

事前に活動内容を確認し合い、危険な活動はしない。無理な活動も控える。

(6) 天候の確認

雨天や強風など、悪天候での活動はしない。状況を見て改善しない場合は速やかに中止する。

当日朝5時に熱中症警戒情報（熱中症警戒アラート）が発令された場合は、中止する。

2 活動中の注意

(1) 周囲への注意

道具を使用しての活動中は周囲に人がいないか、常に注意する。

特に、子供などが近づいてきた場合は、声をかけて注意を促す。

(2) ゴミ拾い活動

ゴミの種類によっては素手で触れずに、軍手やトングを使用し、怪我をしないように注意する。

両手でゴミ袋を持ち運ぶ際は、転倒しないよう足元に注意する。

無理な体勢でのゴミ拾いは控える。

※特に、不法投棄されたゴミの中には、割れたガラスや薬品類など危険なものも含まれている可能性があるため触らない。



(3) 草むしり活動

腰を痛めないよう、無理な姿勢を避けて、
休憩を挟みながら、楽な姿勢での活動を心掛ける。



(4) 肩掛け式草刈機など機械を使用した除草活動の安全確保等

飛石による事故には十分に注意して活動する。

肩掛け式草刈機の操作方法等、詳細は各メーカーの取扱説明書を参照する。

(5) 休憩

疲労を感じたら、無理せず休憩をとる。

**活動中は、熱中症には十分に注意し、こまめに休憩・
水分補給を挟みながら行う。**



(6) 声かけ

活動中は、参加者同士コミュニケーションをとり、体調や活動状況を共有する。
危険な場所や活動状況を知らせることで、事故を未然に防ぐ。

3 活動後の確認

(1) 健康状態・怪我の確認

体調不良を訴える参加者や怪我をした方がいないか確認を行う。

(2) 点検

使用した道具や機械は、各々が点検し、不具合があれば修理または交換する。

【安全確保】

1 危険箇所の特定と対策

(1) 危険な場所の特定

活動を行う前に、足場が不安定な場所や勾配が急な場所、高所などの危険箇所を特定し、活動場所から除く。

(2) 危険な場所への対策

特定した危険な場所に対して、参加者が活動中に絶対に近づかないように活動開始前に周知する。

(3) 高所への対策

高所での活動は避ける。どうしても活動を行う必要がある場合は、ヘルメットを着用し、墜落防止措置を講じたり、安全帯を着用したりするなど、安全確保を徹底する。

(4) 虫刺されなど

活動場所で、スズメバチに刺されたり、マムシに噛まれたりする事例もあるため、周囲の虫などの状況に注意しながら活動する。

（５）不法投棄物への対策

不法投棄物には、鋭利なものや有毒なものが含まれている可能性があるため、直接手で触れないように注意する。

２ 活動手順の確立

（１）手順の明確化

活動を行う前に、活動手順を明確にし、参加者間で共有する。

（２）安全な活動方法

活動手順には、安全な活動方法を盛り込み、危険を伴う活動は避ける。

（３）休憩時間の確保、又は短時間での活動

活動中は、疲労による集中力低下を防ぐための適切な休憩時間を確保する、もしくは、短時間での活動とする。



３ 緊急時の対応

（１）緊急連絡先の把握

万が一、事故が発生した場合に備えて、緊急連絡先を把握し、活動者間で共有する。

※事故が発生した場合の緊急連絡先

- ・負傷者がいる場合・・・１１９番、１１０番通報
- ・負傷者がいない場合・・・１１０番通報



美化清掃活動における事故報告先・・・役場建設課（024-585-2972）

（２）救急箱の設置

救急箱を設置し、必要な救急用品を準備する。